

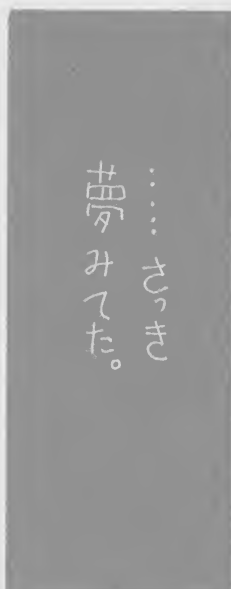
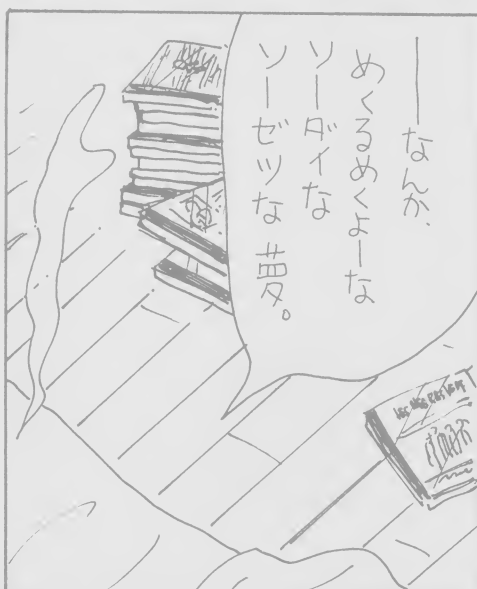


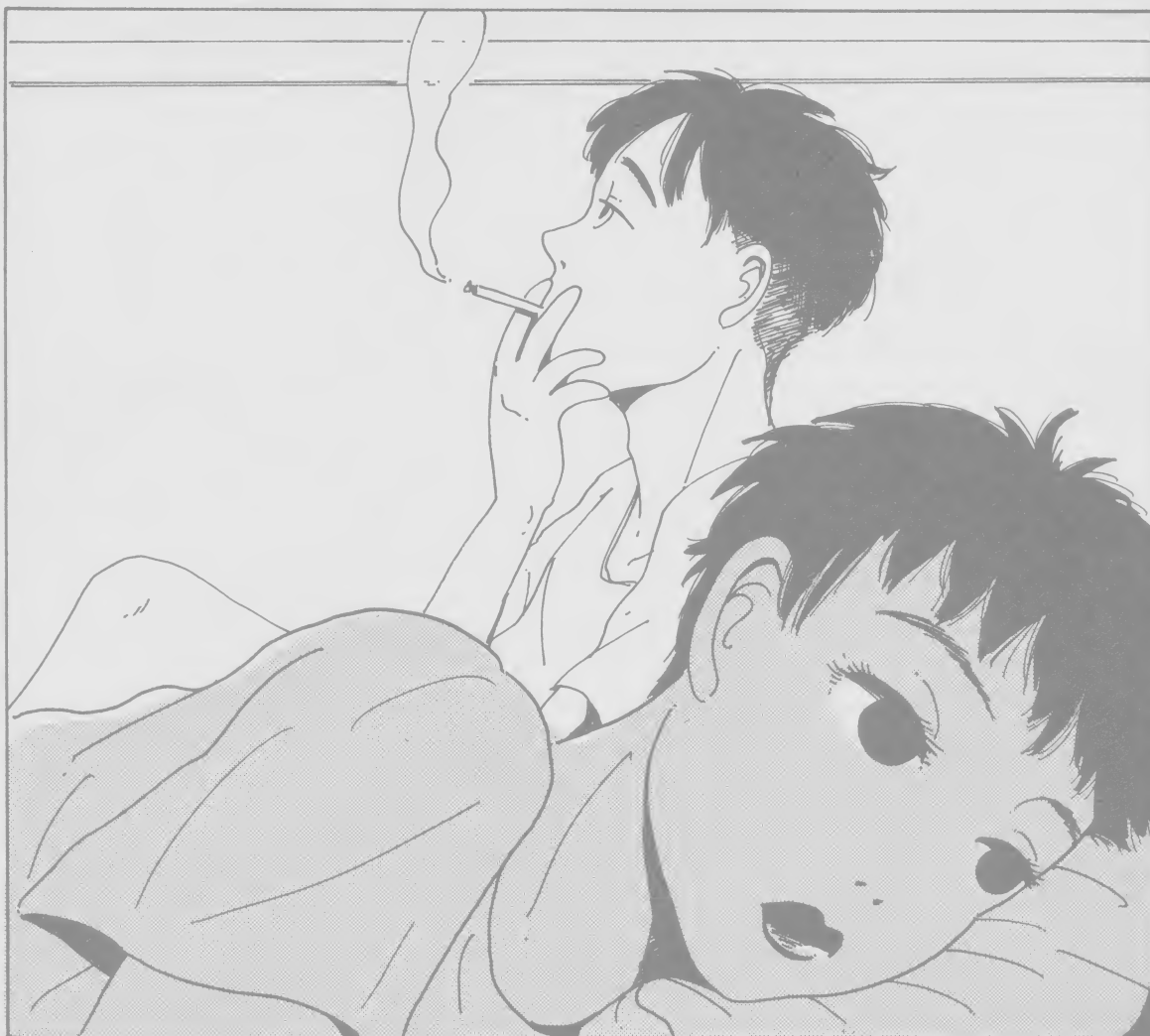
愚かなおしゃべり

安彦麻理絵

"A FOOLISH TALK." CARTOON BY MARIE ABIKO









おぼえて
るよ。



ヒロシくん
じゃない人の
名前、ねごとで
ゆってたもんネ。



アタシも
あったしね、
こーゆーこと。



キョウフちゃんて
つきあってるし、なんか
田舎の意識にさいなま
れるんだよね。



アタシ、ヒロシくんて
つきあつてい
なってるから、
情緒不安定の
病気を
もちっちゃたわ。



ーまた
すぐ泣く。



でもキミはどごにもいかないぞー
そたぐいのワガママだもんね。



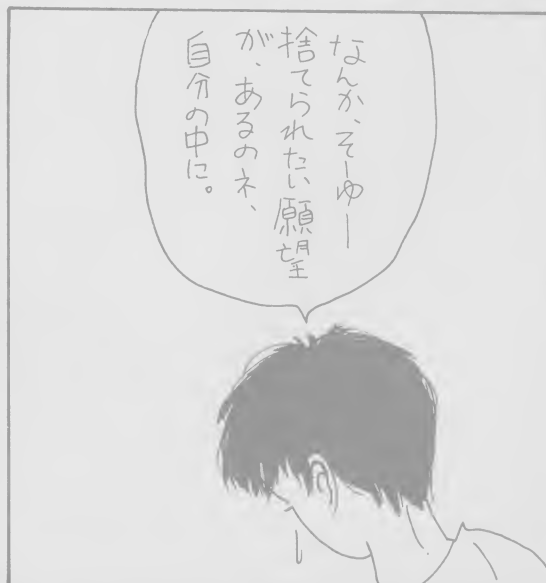
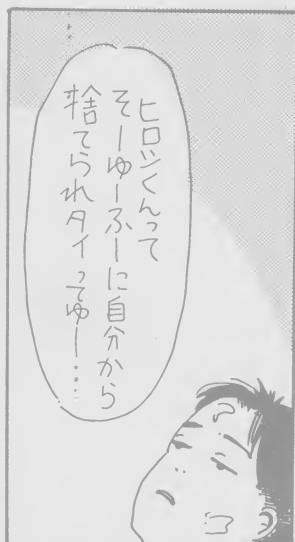
あのコもすきー
このコもすきーの、
スキな人がいっぱいゑー



ホクッて
ワガママ
だしね。

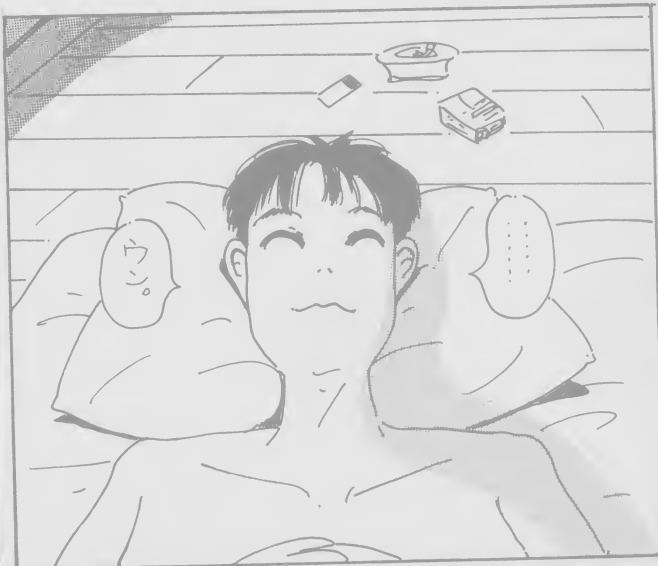
そう!!
すんごい
ワガママ
だもんね!!











読者サロ

今月の有難ひ御言葉



アンケート葉書編

●特集がとても良かった。(特にインタビュが) 松尾スズキさんと岡崎京子さんじゃないけど、気持ちいいです。とやだなあが一体となっていて心地良かったです。

【日立市・17才・女】

●山野一氏のインタビュにはハッとさせられました。僕も惨めな奴は大嫌いですが臆病であそこまで考えられませんか。ヤマノハジメと読むんですか、ヤマノイチと読むんですか、ヤマノーと読むんですか、教えてください。

【船橋市・20才・男】

▼「ヤマノハジメ」と読みます。

●ねこぢるの特集良かったです。写真を見たらなんとなく絵とあってる人だなと思いました。なにおもよせけないすこみがあるなあー。もしこのねこが人間のキャラクターだったらここまで好きになれないだろうな。考えられないけど。

【大阪市・20才・女】

●過去のガロをずーっと見てみましたが、今が一番好きなんです。今月

▼発売日は毎月1日ですが、月によって曜日の関係でずれる事があります。また定期購読に関しては発送・郵送中の手間や事情で弱冠される事があります。出来れば書店でお求め頂ければ確実だと思います。

●私は高校の時大越孝太郎さんのまんがを読んで、でそうになったことがありました。(なんかS Mみたいなん)しかし石川じろうさんのまんががあのころむっちゃおもしろかったでそれからずーっとかっています。最近笑ったらあかんと思いつながらねこぢるうどん好きでよんです。今月でというかん最近友沢ミミヨさんのおもしろいです。ガロはほんまにおもしろいまんが本気でわらえるまんがようさんのつてます。

【福岡市・20才・男】

●つげの本がほしいけどなぜあんなに高くするんですか

【京都市・43才・男】

●三本義治さんの絵は何故あんなにおもしろいやら。目次イラストの知久さんの絵「現場のおっさん」は、絶対に歩けない地面についてる。地面とつながっている。歩いても、地面ごと進む。自分のふ近地帯といっしょに進む。それに笑っている。

【東大阪市・16才・女】

●発売日を明確にして下さい。定期購読していますが、発売日が不明瞭なのはとても困ります。

【流山市・25才・男】

シイのに。別に70年代後半のパンク、ニューウェイブ時代のマンガみたくしなくてもいいのに。ズゴイ好きです。絶対マンガ続けていて下さいー！マディ上原先生の「イラストレーション」に載った作品はカラーですけど、モノクロームのガロと比べながら見ていると、マンガを読む行為がいつのまにか印象を焼き付ける行為に変わっているのに気付きます。

【いわき市・16才・男】



イラスト T.M. マ

●白土三平の特集を。小学館文庫やビッグコミックの単行本にない白土三平の作品の再録をしてほしい。例えば「2年寝太郎」

【知多市・37才・男】

●久住昌之の出たとこ勝負いつも楽しく拝見しております。私ハゲでらっしゃる方好きですよ。やさしそうで、男らしくて、何かひと皮むけてると言うか。ですでのハゲの方は堂々と勝負していただきたい。ねっ〇川〇一さん。

【那珂湊市・27才・女】

●「コミック規制のトリック」を読ん

Gossip & Book INFORMATION



だら、圧力団体の方々に「ガロ」を見せたらきつと有害というでしょう。でも私には(大人には)とっても有益な本です。しかし頭の悪い自分に責任のもてない人々がどんどん増えていくでしょうね、日本は。ところでガロのバックナンバーはどうしたら入手できるのですか。【一宮市・26才・女】

▼バックナンバーは、現在本社にある分限り販売しております。ですから来社して見て頂いているのですが、地方の方はまず往復葉書に希望のバックナンバー号数をお書きになって、在庫の有無をお問合わせになった上で、注文頂いております。

■皆様、ドシドシアンケート葉書を送り下さい。お待ちしております。

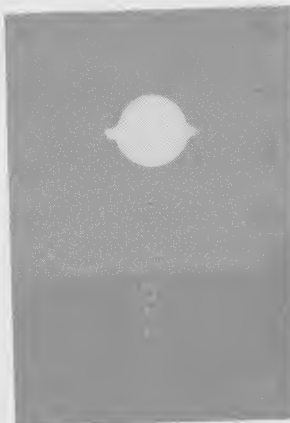
泥鰌庵閑話 下

滝田ゆう

泥鰌庵閑話 上

滝田ゆう 漫画館

とせうあんづればなし
●泥鰌庵閑話 (筑摩書房刊・定価2千300円) 一昨年の夏惜しまれつつこの世を去った滝田ゆう氏の、70年代の代表作。名作『寺島町奇譚』から一貫して、裏街を舞台に市井の人々の哀しくもおかしい人生を描き続けた氏の私漫画集。上下巻同時発売中!!



●もうすぐで、小社からも単行本がぞくぞく刊行される水木しげる先生のエッセイ集が刊行されました。「妖怪天国」(定価千600円)。この本を読んでいるとなんだか、だんだんしあわせな気持ちになってくるのはなぜでしょうか?あとがきに書いてあるとおり水木先生はますます若返っているようです。装幀も美しい。筑摩書房から



〒169 新宿区百人町1-11-21
☎03-3208-5963
(電話での問合せは月火金の午後のみ)

■書肆水族館

6/24(水) 7/2(木)
PM 2:00 ~ 8:00

さて、そのやまだ紫先生の全集刊行記念個展がいよいよ開催されます。6月24日(水)から7月2日(木)まで、現代詩「ラ・メール」でお馴染み、新宿の「水族館」で原画展示の他、絵葉書や額入小作品展示即売なども行うそうです。行かねば一生後悔しますぞよ。

●筑摩書房から刊行中の、やまだ紫作品集の第4巻「はなびらなぐれ/陽溜りのへやで」が出ました。上野昂志先生が解説で述べているように、現在「女性漫画」という言葉が当り前になっていますが、六〇年代末に「COM」で19歳でデビューした、「女性漫画」の始祖と言ってもいい先生の初期から全ての作品を網羅したこの全集は必読!であります。定価1800円で発売中。ちなみに5巻では「たま」の知久さんとのイラストりとり、対談漫画が収録されるというニュースをキャッチしたのでお楽しみに。

骨董紀行 梶井 純著

骨董は高価なものではない。千円二千円で、奈良、平安、鎌倉、室町的美術品が手に入る!! ガラクタ同然のなかから、本当の美しさとは何かを30年の歳月をかけて追求した注目のエッセイ集!!

▶A5変型・定価2000円・装幀=つげ義春、発売中

定本・夢の散歩 つげ義春作品集

▶A5判・定価2500円・再版出来!!

「ねじ式」夜話・つげ義春とその周辺

▶高野慎三著・定価2500円・発売中(喇嘛舎発行)

紅犯花 林 静一初期画集 ￥2500

花ちる町 林 静一劇画作品集 ￥2575

つげ忠男読本 つげ忠男・つげ義男 ￥2575

三橋乙擲読本 三橋乙擲・知久寿焼 ￥2800

犬泥棒の夜 菅野 修作品集 ￥2600

虹竜異聞 湊谷夢吉作品集 ￥2600

夜行 ⑨~⑰ つげ義春、伊藤重夫他 ￥1200 ~2000

北冬書房

〒153 東京都目黒区大橋1-4-10
☎3461-6288 振替東京5-120453

東京都渋谷区広尾三二五二八電話三四〇六一四四五
マトラ出版

荒木経惟
樋口可南子
初の撮り下ろし

ツインピークス VS
トレンディドラマ
山田孝一
松田定次
蜷川実花
大木実
山崎豊子
山崎豊子



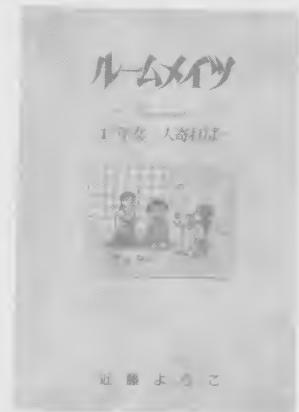
6月号 500円



鴨沢祐仁氏のオールカラー絵本「三日月国のレプス君」が、河出書房新社より発売中。(定価1400円)装丁は本誌の表紙デザインでお馴染みの原口健一郎氏。尚、この夏小社からオール2色の短編集「クシー君のピカピアな夜」を発売予定。お楽しみに!



♥『妖霊星』の連載も絶好調の近藤ようこ氏の単行本『ルームメイツ①年女三人寄れば...』(小学館・定価五百円)が発売されました。これは『ピクニック』誌上で連載されたもので、それぞれの人生を送ってきた老女三人が同居し、三人三様の生活をからめながら、三人三様の生活を描いた、すがすがしい作品です。今月のおすすめの一冊!!



♡小社からも新刊が刊行予定の内田春菊さんが読売新聞夕刊に好評連載した「シーラカンスOL」がウ!!と単行本化されました。この本は仕事のアイマに読むと、さらに面白い。発行チャネルゼロ、発売ビレッジプレス、定価500円で発売中です。



●さあ、忙しくなりませ! 昨年ガロ展を開催した渋谷のギャラリARTWADSがこれからガロで御馴染みの作家陣がガンガン個展を開催します。第一弾は久住昌之展。7月2日から7月14日まで、イラストはもちろん陶芸作品なども展示、会場音楽も手掛けてしまおうという、まさにメディアミックス的な面白い展覧会になりそうです。期間中AM11:00~PM8:00開催、入場無料。詳しくは03-3770-1192 9、ギャラリARTWADSまで。

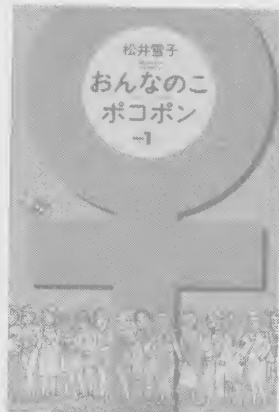
◎その久住昌之氏が、またまた楽しい本を出します。脳の研究者加藤総夫氏との共著「脳天記」(扶桑社・定価千六百円)がそれで、久住氏はイラスト四コマ等、ビジュアル面を担当。内容は脳の研究現場の面白話。久住氏曰く「夢の教科書を目指した本だから、絶対に面白いよ」。そうかつ、そんなに面白いなら、これは買わねばなるまい、ふふ。

☺ガロでの次回作が期待される吉田戦車氏の1988年から1991年までの隠れた(?)名作、奇作が一冊の本になりました。「タイヤ」(マガジンハウス刊・定価800円)。天才少年田村課長がいたり、パチンコの強い犬がいたり、とてもオモシロく絶賛発売中です。



※小社刊「脳天気教養図鑑」が好評発売中の唐沢商会であります。今回はなをきさん個人の短編集が、忘れてもらっちゃこまる、というわけで出版されました。4コマあり、時代劇あり、空想科学譚あり、...と盛りだくさんの内容となっております。是非みなさん読んで下さいね、「百億萬円」(扶桑社刊・定価850円)

月はおつておくと口のまわりにドロボーヒゲが生えてくる松井雪子さんの単行本が竹書房より目出度く出版されました。「おんなのこ」(定価600円)。この本には女の子のいろいろな音が集まっています。しかし、松井さんが昔、マヨネーズのキャブしめ工場につとめていたとは全然知りませんでした、たぬきうどん。



父昨年、9月号の水木しげる特集でお世話になりました水木しげる先生のFC・水木伝説より水木伝説VIII「おぼけのムーちゃん」が出ました。この本はTVマガジンに連載された作品を復刻したものでサスが面白い。この他にも水木伝説では水木先生の作品を復刻をしています。詳しくは〒654-01神戸市須磨区北落合3-38-217-709水木しげるFC・水木伝説まで、フハツ・25号」もよろしく。



戸南の島に引越しを計画中の井口真吾氏が、ZICHANの小説を好評連載中のパルコのフリーペーパー「GOMES」誌上で、ローズちゃんとカトウの可愛いハンカチを販売します。(定価千円)詳しくは03-3477-8764へお問い合わせ下さい。



つねに芸術性の高い音楽活動を行っているヒカシューのボーカリスト巻上公一氏の待望のソロアルバム『殺しのブルース』(東芝EMI・定価3千円)が遂にリリースされた。今回はもともと歌唱力には定評のある氏が、超歌謡なる新たな音楽ジャンルを展開した魅力満載のすっごいアルバムだ。プロデュー

あがた森魚のハンマーキットショー
日時 6月26日(金)PM7:00開場8:00開演
場所 YELLO (3479・0690)
料金 前売3千300円/当日3千700円
問い合わせ 3379・6811 カンデン
スキーまで

「赤色エレジー」でデビュー(72)から、今年で20年目を迎えるあがた森魚氏。うわさのYELLOでハンマーキット・ショー。久々に赤色エレジーを唄う噂も!!

スにジョン・ゾーン、ジャケット写真は荒木経惟氏等、豪華で多彩な顔ぶれで超歌謡の世界をあますことなく表現している。これを機に82年にリリースされた名ソロアルバム『民族の祭典』も初CD化同時発売されるので、是非両方合わせて買うことをおすすめする。それと発売記念コンサートも左記の通りあるのでファンの皆様くれぐれもお見逃しのないように!!

巻上公一コンサート超歌謡「殺しのブルース」
日時 7月2日(木)、3日(金)PM6:00より
場所 TOKYO FM HALL

吉祥寺MANDALAIを超満員にした、根本敬プロデュースによる『べつたらべつたらナイト』が、さらにパワーアップして再び開催される。幻の名盤解放同盟(根本、湯浅学、船橋英雄)に加え、川西杏、とうじ魔とうじ、蛭子能収、突然ダグボール、さらに電気GR OOVEの石野卓球も出演予定。

★6月30日(火)6:00開場6:30開演
★クラブチッタ川崎
(間) 044-246-8888

★前売2800円
コレはもう行くしかないノキミズム。べつたらべつたら」とは何か、を体験してみよう。

◎『未来精子ブラジル』の描下しの進行が気になる根本敬先生の異色作、こじきびんぼう隊が演劇になった!以前から根本先生と共に独自の舞台を展開してきたジコ内山氏の演出・主演、根本敬総指揮・原作・脚本・出演、へらちよんべ他多彩な芸人・俳優が共演する今世紀最後の超大作!何が起ころうか分からない……。

■6月8日(月)銀座小劇場

午後6時半開場・7時開演
■電話予約2000円
(03-3562-5510)
当日 2200円
■問合せ 03-3788-5427
ブダストーン・ジコ内山まで

CD「帰還」(ナツメグ・定価3千円)の発売で音楽活動も絶好調のシバこと三橋乙郷氏ファンクラブが出来ました!!
「入会方法」
郵便振替申込書に必要事項をご記入の上、入会金千500円と年会費千円を添えて、お申し込み下さい。

◆口座番号:東京1-558389
◆口座名称:シバ・ファンクラブ
「会員特典」

★ファンクラブ通信(年4回発行)
★会員のみのスペシャル・イベント
★シバ・デザインの特製オリジナルTシャツを贈呈!!その他いろいろ

「連絡先」
〒150渋谷区神山町17-3/オフィスピラミッド内 神谷・山下まで
03-485-5066



MEMORIES



LITHOGRAPHS
by
NOBUYUKI OHNISHI

☆80年代初頭、二本の故寺山修司の映画美術を担当し、'87年にはアニメーション映画「オネアミスの翼」のタイトルバック（音楽・坂本龍一）、最近では「スイングジャナル」等で音楽をテーマにイラストを描いている大西信之氏初のリトグラフ集が刊行されました。今回は特に「JAZZ」をモチーフにニューヨークの街角からそのデ・ジャヴに充ちたシーンを見せてくれている。「MEMORIES」定価2千円でテンブリント・D&Aより発行。六本木・青山ブックセンターにて販売中。

●安彦麻理絵氏が声の出演をしている明治の牛乳アイスのCMを制作した、CMディレクター加藤良一氏が主催する楽しい音楽のレコード、「パノラマカメラ」が出来ました。これをナンタラ20名様にプレゼントして下さるそうです。尚、このレコードは非売品なので、またと無いチャンスでありますから、今すぐ巻末のアンケートに「レコード希望」と書いて、応募すること。



絵本の原画を製作中の鈴木翁二氏（阿佐谷アトリエにて）

●鈴木翁二氏が北海道より上京。「三日がお互いの限度だから」という一方的な約束で、私の六畳間にころがり込んできた（いや、滞在されているか）。今日で七日が過ぎた。いつしか部屋は氏のアトリエ兼連絡先と化し、私といえは今は台所で寝ながら「三日が限度」という言葉がいったどこに消えてしまったのか、しみじみ考える毎日なのであった。がちゃん。（周）

●切も押し迫ったある朝、私は編集後記を書き忘れたことにハタと気づき、会社に電話し、こともあろうに上司様にむかって「何んでもいいからさ、テキストに書いてよ！」なんて言いつけてしまふ、とても不埒な夢をみたような気がする。たとえ夢でも深く反省してみたりした。ごめんなさい。（高市）

●音楽が深いのか何か知らないが、時々首の後ろに人面瘡が出来る。ちよつと痛い、と思つて何日かすると、皮膚が隆起してちよつと女性の乳首のような形（手塚女史談）に腫れあがり、絶え間ない激痛で首を動かすのもままならぬ。そのうち、夜中にブツブツと何ごとか喋り始めるのだ。その状態が何日か続き、やがて頂点が破れ、大量の血膿が出て治癒に至るといふ訳だが、これが忙しい時に限つて出るのではなはだ往生する。まあ「人面」かどうかは同僚がそう言うので自分では分からないし、夜中喋るのもこっちは寝てるので分からないが。それじゃあ人面瘡かどうか分からないって？：そーだね。（シラトリ）

●私がガロを読み出したのは、'70年1月号。そう、林さんの「赤色エレジー」連載第一回目の号でありました。単行本が出た時は東京にまで買いに来たもんね。もう宝物のようにして何十回も読んでしまいました。林さんが描くあのほのかなくも美しい少女にずいぶん憧れましたが、現実はいえは、全然正反對の、ゴツゴツ顔でおまけにヒゲの濃い女性に仕上がってしまいました。んんんん、ゲセない。不思議だなあ。どうしてこんなふうになっちゃったのだろう。か。オイ、志村、何か答えてみろよ。ケツ!!（手塚）

●先日会社のそばの交差点で、キャンディキャンディのかっこいい中乗バイクに乗っている人がいました。あとでポップテイーンという雑誌を読んでいたらその人とそっくりな女装おじさんが載っていました。（志村）

（株）青林堂のご案内 事前にお電話で確認下さい。

〒101 東京都千代田区神田神保町1-62 ☎03(3291)9556/2495 FAX 03(3292)7368

●編集部より
作家の方にファンレターを出すにはどうすれば良いのか?という質問がよくまいります。その場合は、「青林堂気付」〇〇先生へ」と明記して、当社宛郵送下されば開封せず、そのままその先生にお渡しします。どしどしお送り下さい。

●原稿の持ち込みは、必ず前日までに電話下さい。（原稿拝見は午前中のみ受け付けております）また、本を直接買いに來られる方は、営業時間内（AM 9:30～PM 5:30）にお願い致します。

お待たせしました 単行本いよいよ発売!／

ねこぢるうどん

予価1000円(本体971円) 4/6判上製



7月発売予定

ファン待望の珠玉の短編集

愛のせいかしら

内田春菊



8月25日発売予定

A 5判・定価1200円 青林堂